

平成25年8月29日

講演会『教育・保育における「活動に根ざした介入」の意義について』の開催について

広島大学大学院教育学研究科では、講演会『教育・保育における「活動に根ざした介入」の意義について－ABI(Activity Based Intervention)とはなにか－』を下記のとおり開催します。

ABI(活動に根ざした介入)の開発者であるブリッカー博士に、米国における障害のある幼児の支援、そしてABIの意義や展望についてご講演いただきます。

保育・教育、特別支援教育関係者、子どもたちと関わる皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

記

【日 時】 平成25年9月3日(火) 13:00～15:00

【会 場】 広島大学東広島キャンパス  
大学院教育学研究科 管理棟2階 第一会議室

【テーマ】 教育・保育における「活動に根ざした介入」の意義について  
－ABI(Activity Based Intervention)とはなにか－

【講 師】 米国オレゴン大学教育学部名誉教授  
Diane Bricker(ダイアン・ブリッカー)博士

※申込・参加費は不要です。

【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設 上山  
TEL:082-424-4388 FAX:082-424-5261

# 講演会のご案内

## 『教育・保育における「活動に根ざした介入」の意義について』 —ABI(Activity Based Intervention)とはなにか—

講師: **ダイアン・ブリッカー博士(オレゴン大学名誉教授)**

司会: 七木田 敦(広島大学) 通訳: 川合紀宗(広島大学)

ABI(活動に根ざした介入)とは、障害のある幼児やそのリスクのある幼児が、発達上重要なスキルを学習し、使用できるよう支援することを目的としたアプローチです。

「アセスメント・目標の設定・介入・再評価」という支援のプロセスが実践者にわかりやすく繋がるように工夫されています。米国では適切な支援を行うために様々な方略を融合する包括的なアプローチと知られ、国際的にも高く評価されています。

この度、ABIの開発者であるブリッカー博士が来日し、米国における障害のある幼児の支援、そしてABIの意義や展望についてご講演いただくことになりました。幼児のあたりまえの生活を重視したABIによる支援は、日本の保育や特別支援教育にも重要な手がかりを与えるものと思われます。保育・教育、特別支援教育関係者、子どもたちと関わる皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

日 時: 2013年9月3日(火)

講演時間: 13:00~15:00

場 所: 教育学研究科管理棟2階第一会議室



Diane Bricker 博士

(米国オレゴン大学教育学部名誉教授)

オレゴン大学にて特殊教育学の修士号ならびにバンダービルト大学にて特殊教育学の博士号を取得。1970年代初期より、地域における統合環境での介入プログラムの開発を行った以降、早期介入の領域で活躍し、国家レベルでの実践や研究の取り組みを先導している。

お問い合わせ先: 広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設

TEL 082-424-4388 (上山) FAX 082-424-5261 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/ech/>

なお、申し込み・参加費は不要です。皆様お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

主催: 附属幼年教育研究施設・附属特別支援教育実践センター・特別支援教育学講座